



Walk with Children

めぐろ

大人 子供

せいび

174 号
2021 年 11 月

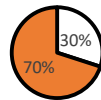
あなたがたによく言うておく。これらのわたしの兄弟、
しかも最も小さな者の一人にしたのは、わたしにしたのである。
(マタイ 25 章 40 節)

校長 シスター 小島 理恵

2 学期も後半に入ります。
「学校に来られて嬉しい!」「みんなと
いっしょに遊べて楽しい!」という声
を聞きながら、子ども達にとっての学
校は本当に楽しいところなのだろうと
改めて感じさせられます。とはいえ、
表面化されない心の状態、気持ちには
変化が生じていることもあります。そ
こで登校が再開した 10 月上旬に「気持
ち」についてのアンケートを取りまし
た。右のグラフがその結果です。
一人ひとり感じ方は異なります。
学校が安心できる場、喜びを感じら
れる場であるよう、今後も尽力してま
いります。

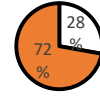
「登校再開したみんなの気持ち」

①いらいらしたりカッ
したりすることがある



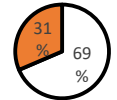
□ はい ■ いいえ

②頭やお腹が
痛くなることがある



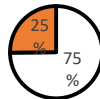
□ はい ■ いいえ

③よく眠れる



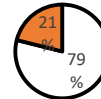
□ はい ■ いいえ

④お家で集中して
勉強ができる



□ はい ■ いいえ

⑤食欲がある



□ はい ■ いいえ

⑥学校に来るのが
楽しみ



□ はい ■ いいえ

コンネッショナー
Conessione

～つながり～

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

9 月号は、ドン・ボスコの生まれた場所について紹介しました。

今月は、ドン・ボスコとカロツ神父様のエピソードです。



『ドン・ボスコの心で教えよう』
(サレジオ会日本管区) より

1829 年 11 月、ドン・ボスコ（ヨハネ）が 14 歳の時のことです。教会に説教を聞きに行った帰り道、老司祭カロツ神父に声をかけられました。「名前は何というの?」「今日の話は分かったかい?」「なぜ勉強したいの?」この司祭との出会いにより、ヨハネは自分の夢に向かって一步を踏み出すこととなります。「カロツ神父様のような司祭になりたい」という一つの目標・手本により、ヨハネは心が燃やされる思いだったことでしょう。カロツ神父の「人を大事にする生き方」は、まさにイエス・キリストの生き方そのものでした!

芸術鑑賞会を終えて

1年生

はやしやきくぞうさんが、せんすをおだんごに見たてているのがじょうずで、「じやりじやりするぞ。」と、みつをなめていて、さとうをなめているのかな?とそうぞうしたらおだんごがたべたくなりました。



待ちに待った遠足!



1・2・5・6年生は、待ちに待った遠足に出かけました。行き帰りのバスは、感染対策の一環として、車内でもおしゃべりなしの約束で現地に向かいました。その分現地に着いてからは、元気100倍の笑顔で体を動かしました。久しぶりの遠足に、どの学年も喜びいっぱいの1日となりました。

2年生

ぼくは、10月8日に秋のえん足に行きました。えん足でとくに思い出にのこったことは草が生えている広場でドロケイをしたことです。なぜかという、ぼくは走ることが大スキだからです。1年生とハンカチおとしをしたことも楽しかったです。理ゆうは、ハンカチがだれにおとされるのか、目をつぶって見えないので、とてもわくわくしたからです。とても楽しかったので、また行きたいです。お父さま、お母さまにもつたえたいです。



6年生

行き先が富士山から国営昭和記念公園に変わりましたが、今回の遠足は小学校生活の中で一番楽しかったです。クラス遊びでキックベースをしました。ファウルしてしまった時、みんなが、「ドンマイ!」と言ってくれたので気が楽になりました。遊びの中で、自分が最後のキッカーでした。緊張しましたが、良い終わり方をしたいという一心で蹴ると、一点貢献することができました。そしてクラスのMVPに選ばれました。とても嬉しかったです。しかし全員が活躍していたので、みんながMVPにふさわしいのではないかと思います。

その後はサレジオ教会に帰り、6年間の感謝を込めてお祈りしました。卒業まで感謝の気持ちを持ちながら、チームワークを大切に過ごしていきたいです。



5年生

「がんばれ!あともう少し。」

そう言いながら、歩き続けた高尾山でした。高尾山は道のりがつらく、長い階段を上ったり、下り坂の木の根にひっかかりたりして体中が痛かったけれど、クラスのみんなとはげま合って最後まで歩くことができました。

また、山の中を歩いていると様々な自然で満ちていました。木と木の間に差すわずかな日の光、ハートの形をした葉っぱ、姿は見えないけれど聞こえる鳥の声…。私はそんな自然の一つ一つが美しいと思いました。

こんな状況でも遠足に行けたこと、素晴らしい友達と過ごし、美しい自然に出会えたことが神様のおめぐみだと思い、神様に感謝しました。高尾山の遠足は大切な思い出になりました。

